壽徳寺だより

WEB版
11月号

真言宗豊山派 田子山 壽徳寺 寺報
2021年11月号 ＊web版毎月8日発行

色づく境内

『はなす』こと

私は現在、宗派の養成機関に通っています。『布教』という仏の教えを伝える手だてを学び研鑽をするための養成所に在籍しています。実際にはオンラインでの講義が主となり自宅での学びの時間です。この場では、話す、伝えることの学びの時間を重ねているのですが、伝えたい内容、話のネタが浮かばず、悩み迷う毎回です。

この養成所での学び、グリーフケアでの学び、コロナ状況下の経験を重ねながら、人前で話すこと、伝えることに対して、変化がありました。それは『話す』ことがすべてではないこと。『離す』ことも大事であることです。話して楽になることもあれば、話してしまうことで人を傷つけてしまったり、自分のこころの葛藤があったり、話すことがすべてではないとより強く感じています。

ものや事柄に執着しない、固執せず『手放す』（離す）というのは仏教の大事な教えです。話をすることが手放すことにもなり、話すこと以外で手放すこともたくさんあります。みなさんにとって『話す』こと、『離す』ことどんなイメージがあるでしょうか？合う事、話す機会も少ない今。その中で心の荷物を一旦手放す時間も大切にしたいものです。

合掌

壽徳寺　住職　松村妙仁

ごえんびと

第八回　目黒 麗 さん

目黒 麗 さん

演奏の様子

連載コーナー「ごえんびと」
壽徳寺にご縁のあるひと（ごえんびと）にインタビューし、想いを伺いながらご縁を深めます。

第九回目は、目黒麗（めぐろうらら）さんです。目黒さんは福島県三島町在住で、クリスタルボウル演奏家、漆塗りネックレスなどの雑貨屋として活動されています。十一月十四日には、壽徳寺でクリスタルボウル演奏会も開催。少人数開催ですが、ぜひみなさまに体感していただければと思います。

会津での生活、クリスタルボウルとの出会いなど、目黒さんのいままでとこれからについてお伺いしました。ぜひご覧ください。

クリスタルボウルとは

水晶などの石、鉱物を器の形にした楽器。専用のバチで優しく叩いたり、ボウルのふちをこすったりして、瑞々しい透明感のある倍音を奏でる、癒しの楽器です。

――ご出身は福島市なんですね？

そうですね。五歳まで福島市に住んでおりまして、その後会津若松市へ移り住みました。大学進学時に会津を離れ、大学卒業後は千葉県内のホテルに就職。その後、海外にも憧れがありワーキングホリデーでオーストラリアで一年間生活し、会津に戻ってきたかんじです。

――いずれは会津に戻って来るつもりだったのですか？

いえいえ、会津に戻るつもりはなかったんです。ですが、会津を離れてみると四季の美しさに懐かしさや魅力を感じるようになっていました。私は会津の自然が好きなんだなと。

父の実家が金山町にあり、祖母が実家でひとり暮らしをしたことで、幼い頃は週末に家族で父の実家に行っていました。若松市内に住んでいながらも、自然の中で遊んでいたという原風景は金山町です。自然豊かな風景の中にいることや、見ること、昔ながらの里山の風景、自然の音が好きというのは幼い頃養ったものだなと思います。

――奥会津で一人暮らしするきっかけにも繋がるのでしょうか？

そうですね。祖母が住んでいた家が空いていたので、一人暮らしをはじめました。オーストラリアに住んでいた頃から、自給自足で暮らしてみたいという気持ちがあったのもあります。ですが、暮らしてみると雪国の一軒家でひとり暮らしは結構大変でした(笑)。父が週末、畑仕事や雪かきには来てくれていたので、なんとか暮らしていけたようなものです。一軒家でのひとり暮らしは四年くらいの経験でした。

――田舎暮らしはご近所付き合いなども大変なのではないでしょうか？

祖母が住んでいた地域だったので、地域の方々に助けてもらっていました。幼い頃からよく通っていた土地であることは大きかったですね。祖母を通じて幼い頃の私も知ってもらっていたので、まったく知らない土地ではないという安心感もありました。父の実家に住むということで、自分のルーツをたどるような感覚もありました。

――クリスタルボウルとの出会いをお聞かせください。

演奏は二〇一三年頃からはじめました。会津に帰ってきてから、二〇〇八年頃、たまたま演奏会が喜多方であり聞きに行ったのがきっかけです。その時、自分の体感として不思議な感覚があり、その感覚が日が経ってからも残っていました。あれはなんだったのだろう？と不思議な感覚でした。そこからクリスタルボウルが気になりはじめて、東京にも聞きに行ったりしていました。

その時はまさか、自分が演奏する立場になるとは思いもしなかったです。演奏会に何度か行くようになると、周りの方々と顔なじみになり、受付の手伝いなどするようになって、演奏者やスタッフの方と交流するようになりました。そのうちに「私もやってみようかな」という気持ちで、はじめてみました。

――先生に基礎から習うというかんじなのでしょうか？

先生に教わるのは基礎の部分で、あとは自分で感じるように演奏していきます。習ったとおりに正確に演奏しようということから抜け出せず、自分なりの演奏ができない気がしていた時期もありました。先生には「このとおりにやりなさい」と言われたわけではないのですが、教わったとおりにやらなくちゃ、ということがどこか頭に残っていたんです。学校時代もマニュアル通りにやるタイプでしたので、そこからなかなか抜けなかったのかもしれませんね。

子育てもあり、演奏することから少し離れている時期もありましたが、その間に学んだことや感覚を活かして、最近はもともと習ったスタイルに、自分の工夫を加えて、自由な気持ちで自分なりの演奏ができるようになってきたかなと感じています。

――昔から音楽のご経験があったのでしょうか？

小中学校では吹奏楽部に入りフルートをやってました。ですが、助っ人として入った打楽器アンサンブルの時の方が楽しかったですね(笑)。割りと惹かれるのは打楽器で、クリスタルボウルも打楽器だったわ、と最近になってから、気付きました。他にもビブラフォンやハープの音色など、ほわっと癒される音色が好きですね。

――クリスタルボウルにもさまざまな演奏スタイルがあるかと思います。目黒さんはどのような演奏スタイルですか？

私の演奏は、クリスタルボウルの音色にプラスして、マントラ（祈りや瞑想、ヨガなどで唱えられる言葉）とか、自分から湧いてくるメロディーを声に出しながら演奏するスタイルです。これは私が習ったスタイルなのですが、クリスタルボウルの音色だけの演奏と思って聞いていた方には、声が聞こえて少し驚かれる方もいらっしゃいますね。

参加するスタイルも畳の上などに横になって聴いていただくのが多いのですが、アートの展覧会の中で演奏する時などは、椅子に座って、私の演奏も見ていただくこともありますので、見られながら演奏するという機会も良い経験となりました。

また、屋外で演奏することもありました。屋外だと自然界の中でいろんなところに反響して、山とか空から音が鳴っているように聞こえるなど、いろんな感想をいただくこともありますね。

――親子で参加できる演奏会も開催されているのですよね？

そうですね。通常の演奏会では、とても静かな空間ですので、お子さんがいらっしゃる方が、お子さんが声を出したり動き回ってしまったりした時、十分リラックスできないとのお声があり、通常の演奏会とは別に、親子向けの演奏会を開催しました。お子さまが元気に動き回ったりしても心配なく聴いて頂けるように、今までの経験を活かして、開催場所の選定や短時間の演奏会にしたり、工夫しながら開催しています。

――ハンドメイドのアクセサリーづくりもされているとか？

父が漆細工やまたたび細工をつくっていて、漆細工のパーツで私がアクセサリーを作ったりして、販売しています。今は地元のマルシェでの出展などを中心に、今後はネットショップでも展開できればと思っています。私の今の環境の中でなにができるか？と考えた時に、自分が好きなものが販売できるようなればいいなと思って、はじめてみました。

両親とも、手作りすることが好きで、私が幼い頃は大工仕事やお裁縫で、子供の遊ぶ道具、持ち物、衣類など、また、お菓子など、手作りしてくれていました。その環境で過ごした影響は大きいかなと思います。

――今考えていること、これからのことなどお聞かせください

今までも、これからもそうですが、まず、自分自身を幸せにすること、そして自分の近くの環境から心地の良いものにしていくことを大事にしていきたいと思っています。自分を幸せにできるのは他の誰でもなく自分自身ですし、自分が満ちることで周りの世界に良いものを広げていけると思っています。子育てが始まったばかりの頃は、家事と子育てだけで体力がいっぱいいっぱいな自分にがっかりしていました。理想と現実を比較しては、知らず知らずのうちに自分を責め、そんな自分にも気づけなかったんです。

自分の五感が喜ぶことを大事に、こだわりつつも、自分の身体を自分で楽にする工夫も大切に選ぶことで、日々楽しく豊かに、創造的な生き方ができるんじゃないかと思っています。過去の自分を受け入れ、そしてまだ見ぬ新たな自分との出会いを楽しみに、私自身が楽しんで、人生を創っていきたいなと思っています。

まずは、十一月十四日の演奏会楽しみにしております。ご参加お待ちしております。

――ありがとうございました演奏会とても楽しみにしております。

＊インタビュー・文　松村妙仁

＊二〇二一年十月十九日　インタビュー

念願が叶って壽徳寺にてクリスタルボウルの演奏会を開催いたします。

目黒さんに演奏をお願いしたいと思ったのは住職の直感です（笑）目黒さんのこれまでのご経験やブログなどを拝見して、想いが重なる部分があり、お願いいたしました。今回お話を伺ってその直感が確かであったことを実感する時間でした。お話を伺いながら、演奏会がさらに楽しみになっております。

クリスタルボウルはからだ全体で体感するものと思っております。みなさまもぜひ目黒さんの演奏、体感しにいらしてください。お待ちしております。

【クリスタルボウル演奏会】

■日時：2021 年 11 月 14 日（日）14：00～15：00

■場所：壽徳寺本堂にて

■参加費：3,000 円

■詳細・お申込はこちらから

https://mytera.jp/calendar/jyutokuji_20211114/

目黒（めぐろ）　麗（うらら）　さん　プロフィール

福島県福島市出身。

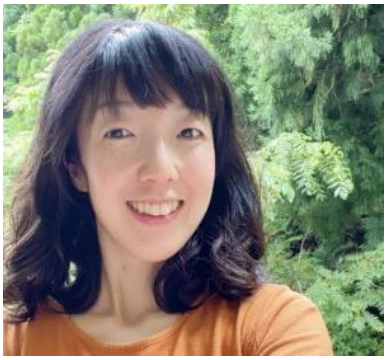
五歳から高校生まで会津若松市で過ごす。

大学生から就職三年目まで県外で過ごすが、その後一年間オーストラリアでのワーキングホリデーを経験したのち、地元会津に戻ってくる。主にホテル・旅館業、のち、高齢者の介護施設で仕事に携わった経験あり。

二〇〇八年にクリスタルボウルに出会い、その透明感のある神秘的な音に惹かれ、演奏を聴きに行くようになり、二〇一三年頃から奏者としてヒーリング演奏を行うイベントを開催する。

今年からクリスタルボウルの演奏の他に、漆塗りのアクセサリーやマタタビ細工などの販売をする『おとのはことは』という店名で活動中。

自然豊かな土地が好きで、現在は奥会津の三島町在住。二児の母。



目黒麗さんブログ

『わたしのまんなか　ひらく　はなつ』

https://ameblo.jp/uralaotonoha88/

活動情報などはブログでご確認ください

Facebook、Instagram もあり

壽徳寺　今後の行事予定

日にち	時間	行事名	料金 定員	予約	内容
11/7 （土）	14:00～ 15:30	自分でつくる 御朱印帖	￥1500 各 10 名	必要	御朱印のお話と御朱印帖をつくるワークショップ。表紙を選び自分だけのオリジナル御朱印帖がつくれます。
11/14 （日）	14：00～ 15：00	クリスタルボウル 演奏会	￥3000 10 名	必要	クリスタルボウルの音色のからだとこころをゆだね、癒しの時間を体感しませんか？
11/23 （火祝）	15:30～ 16:30	おてらヨガ （昼の部）	￥1000 各 10 名	必要	通常ヨガは年内最後の開催 少人数制で感染症対策をしながら開催いたします。初めてでも、おひとりでも安心して受けられるヨガです
	18:30～ 19:30	おてらヨガ （夜の部）			
11/28 （日）	14:00～ 15:30	手ぶらで 写経写仏	￥1000 各 10 名	必要	年内最後の開催 心を整える修行である写経、写仏。 静かな本堂で自分の心を見つめませんか？写経と写仏どちらも選べます。
12/5 （日）	14：00～ 16：30	感謝の太陽礼拝	￥1000 12 名	必要	年末恒例の開催。108 回の太陽礼拝を重ねながら、一緒に心の垢おとししませんか？
12/8 （水）	14：00～ 15：00	納め薬師 布薩会	お賽銭 20 名	不要	自分の行動をふりかえり、心をあらう仏教儀式です。一緒に一年を振り返りましょう。
12/19 （日）	14：00～ 15：30	畳の縁でつくる 正月飾り	￥2500 15 名	必要	畳の縁をつかった正月飾りのワークショップです。畳や正月飾りのお話をしながら楽しく進めます。

壽徳寺の最新情報はインターネットで発信しております

壽徳寺ホームページ

http://jyutokuji.net

壽徳寺公式 LINE、 Facebook、インスタグラムなどの SNS
リンク一覧はこちらから

https://linktr.ee/jyutokuji